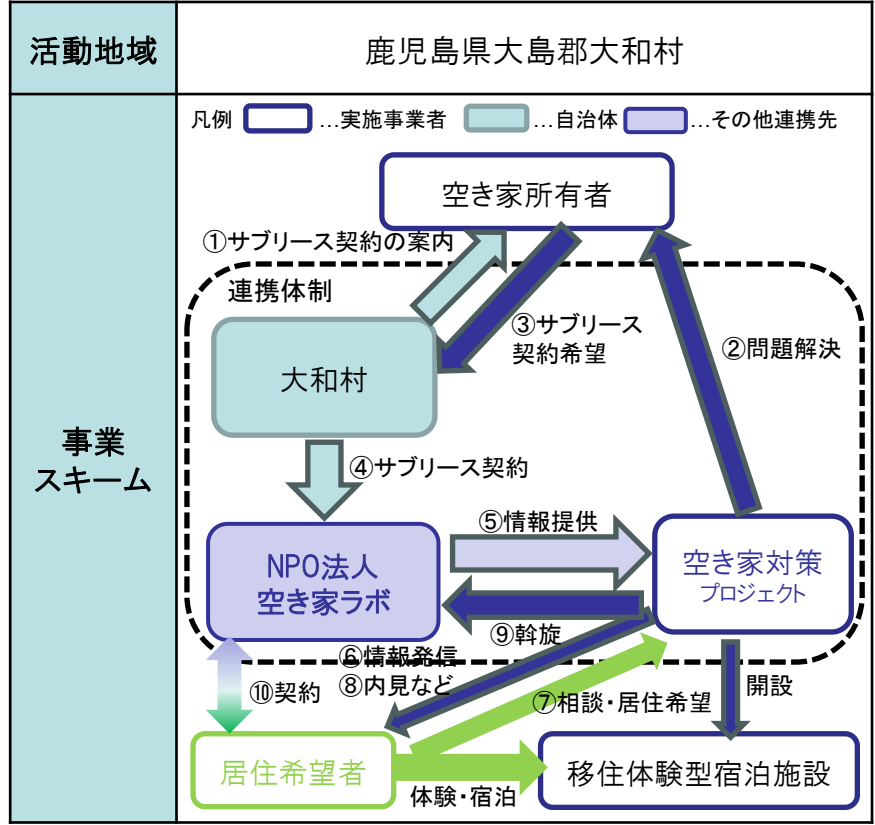


大和村空家再生プロジェクト研究会

事業概要	増加する空き家を放置していると劣化が進み、近隣住民にも危険が及ぶ。再利用し大和村の人口減少問題にも寄与することを目的に、空き家調査をしてサブリース契約を行い住居の確保・紹介を行う。また移住体験型宿泊施設の開設により、大和村への移住を促進させる。
------	--

事業者情報	
団体名	大和村空家再生プロジェクト研究会
所在地	鹿児島県大島郡大和村今里
設立時期	令和4年12月
団体HP	https://yamatoinn.jp



取組内容及び成果
1.官民一体となった空き家の調査と情報共有 大和村とNPO法人空き家バンクとの提携が進み、打ち合わせを行い各々の問題点を抽出した。 大和村→空き家は把握しているが、買取やサブリース利用を所有者側からしかアプローチを得られない。 空き家ラボ→空き家紹介はあるが、空き家の場所のソートがされていない。 各集落や周辺情報の紹介などはできていない。 問題点の対策として、固定資産税などの通知と一緒にサブリースの案内を送り、その活用例や実績の説明を同封することにした。 また空き家情報を当事業に共有していただくことをお約束していただき、その情報を元に正確な位置や間取りなど詳しい情報を取得し、大和村に特化した情報(生活、移住者の声、仕事、環境、助成金など)とともに空き家情報を掲載するサイトの開設することに承認を得られた。
2.各区長、住民との面談とニーズ調査 各集落の区長や代表住民との面談で、空き家やその所有者、空き家の使い道や問題点、今後どのような利用方法にして欲しいか、して欲しくないか？を聞き取ることができた。 区長は、各家の事情にも詳しく、空き家の再利用やサブリース、買取のアプローチの元となる情報を得られた。土地と建物の所有者が異なったケースや、建物の敷地の一部が別の所有者であるケース、土地の所有者が多数などの理由で、賃貸契約をできないことも多く見受けられた。また、貸し手が奄美大島でなく本土に居住しており、空き家をメンテナンスすることが難しく、放置し建物が劣化してしまうという悪循環も問題点として明白となった。
3.体験型宿泊施設の開設 大和村を知ってもらうことから移住促進につながると考え、古民家を改装して体験型宿泊施設の開設を行う。NPO法人空き家ラボから頂いた空き家情報より最適な改修モデル事業可能な物件の選定を行なった。 なお、開業は令和6年5月を予定。